

Apache モジュール mod_speling

説明:	ユーザが入力したであろう間違っ URL を、大文字小文字の区別を無視することと一つ以下の綴り間違いを許容することで 修正を試みる
ステータス:	Extension
モジュール識別子	speling_module
:	
ソースファイル:	mod_speling.c

概要

リクエストの綴りが間違っていたり、大文字小文字が違っていたりするために、Apache のコアサーバがドキュメントへのリクエストへの応答を正しく提供できないことがあります。このモジュールは、他のすべてのモジュールがあきらめた後であったとしても、リクエストに合うドキュメントを見つけようとするによりこの問題の解決を試みます。このモジュールはリクエストされたディレクトリにあるそれぞれのドキュメントの名前と、リクエストされたドキュメントの名前とを大文字小文字の区別を無視し、一文字までの綴りの間違い（文字の挿入/省略/隣合う文字の置換、間違っ文字）を許可して比較することにより、目的を達成しようとしています。この方法でリクエストに合うドキュメントの一覧が作成されます。

ディレクトリをスキャンした後に、

- 適切なドキュメントが見つからなかった場合、Apache はいつもと同じように処理をし、「ドキュメントが見つからない」というエラーを返します。
- リクエストに「ほとんど」合うドキュメントが一つだけ見つかった場合、それがリダイレクト応答として返されます。
- よく似たドキュメントが複数見つかった場合、そのリストがクライアントに返され、クライアントが正しい候補を選択できるようにします。

ディレクティブ

CheckSpelling..... 1

CheckSpelling ディレクティブ

説明:	speling モジュールを使用するようにする
構文:	CheckSpelling on off
デフォルト:	CheckSpelling Off
コンテキスト:	サーバ設定ファイル, バーチャルホスト, ディレクトリ, .htaccess
上書き:	Options
ステータス:	Extension
モジュール:	mod_speling
互換性:	CheckSpelling は Apache 1.1 では別配布のモジュールで、大文字小文字の間違いのみの機能でした。Apache 1.3 で Apache の配布に含まれるようになりました。Apache 1.3.2 より前では CheckSpelling ディレクティブは「サーバ」と「バーチャルホスト」コンテキストでのみ使用可能でした

Apache モジュール mod_speling

このディレクティブは綴り用のモジュールを使用するかどうかを 決めます。使用時には、以下のことを覚えておいてください

- 同時にたくさんの綴りの訂正を行なわなければならないときは、 そのために行なわれるディレクトリのスキャンがサーバの性能に 影響を与えます。
- ドキュメントの中に綴りの「訂正」により 意図せず合ってしまうような重要なファイルがないようにしてください。
- モジュールはユーザ名の綴りの間違い (http://my.host/~apahce/ のように) を訂正することはできません。 訂正できるのはファイル名とディレクトリ名だけです。
- 綴りの訂正は存在するファイルに厳密に適用されますので、 <Location /status> はネゴシエーションの結果のファイル "/stats.html" として間違っ
て扱われるかもしれません。